

令和2年度 全国学力・学習状況調査の結果

千歳市立千歳第二小学校

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝を申し上げます。

さて、本年8月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大により、全国調査としては中止になりましたので、例年行っている全国の調査結果との比較はできませんが、本校では、この調査の自校採点の結果を踏まえ、日常の授業の改善に取り組んでまいります。

国語

課題の見られた領域 【書くこと】

この領域の問題は3問でした。領域全体の平均正答率は59.1%でした。その中でも、記述式の問題は、正答率は19.3%で、無答率は8.8%でした。

★正答率が低く、課題の見られた問題

【本の一部】「プラスチックのひみつ」という題名の本

◇ プラスチックを賢く使おう

プラスチックは、軽くて丈夫で持ち運びがしやすいえ、さまざまな製品に加工することができます。わたしたちの生活を見回してみると、プラスチック製品はどんどん増えていて、生活になくはならないものとなっています。

こんなに便利なプラスチックですが、実はプラスチックの多くは自然には分解されません。植物や動物などから作られるものは、土や水の中で微生物によって分解され、なくなってしまいます。しかし、わたしたちの身の回りでは使用されているプラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されません。そのため、ずっと残ってしまうのです。

けれども、

※上の原稿用紙は下書き用紙で、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。
※◆の印から書きましょう。どちらでも行を楽でないで、続けて書きましょう。

二 岩田さんは、「下書き①」の内容を、次の条件に合わせて書きました。そのために資料を探し、本を見つめました。次は、その「本の一部」です。〇に入る条件に合せて書きました。

（条件）

- 「本の一部」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 岩田さんが、「何」という本から言葉や文を取り上げたのが分かるように書くこと。
- 書き出しの言葉に続けて、三十字以上、八十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。



【下書き①】

提案します わたしたちができる「プラスチックの3R週間」

■ 知っていますか プラスチックごみの問題

わたしたちの周りには多くのプラスチック製品があります。例えば、ペットボトル、ストロー、レジぶくろなどです。プラスチック製品のおかげで、わたしたちは便利な生活を送ることができています。

しかし、これらのプラスチック製品がごみになると、大きな問題になります。最近の新聞には、海岸に打ち上げられたクジラの胃の中からペットボトルなどが発見されたという記事や、森のサルがプラスチックごみを食べてしまったという記事がありました。わたしは、プラスチックごみが生き物に深くないきょうをあたえていることにっひじょうにおどろきました。かん境省のホームページによると、世界のプラスチック容器の生産量は、1964年は1500万トンだったが、2014年には3億1100万トンになっているそうです。以前に比べて増えていることが分かります。プラスチックは時間がたつと分解されてなくなるだろうと考えている人がいるかもしれませんが、けれども、

■ みんなで減らそう プラスチックごみ

わたしは、便利だからといってプラスチックを当たり前のように使うという考えをいあらため、プラスチックごみを減らすためにできることをしたいと思っています。そこで、わたしたちができる「プラスチックの3R週間」を提案します。3Rとは、ごみそのものを減らすリデュース（Reduce）、くり返し使うリユース（Reuse）、ごみを資源に変え、再利用するリサイクル（Recycle）のことです。わたしたち一人一人の力はとても小さいかもしれませんが、しかし、その力が積み重なれば大きなものになります。

A 大切なことは、行動することが大切だと思います。

2 岩田さんの学校では、生活の中で気になったことについて調べています。岩田さんは、プラスチックごみの問題について調べ、ごみを減らすための行動について学校の友達に提案することになりました。次は、岩田さんが書いている文章の「下書き①」と「下書き②」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

正答：（例）
（けれども）「プラスチックのひみつ」という本によると、プラスチックはほとんどが石油から作られているので、自然の中では分解されずに、ずっと残ってしまうそうです。

※誤答のほとんどが、2つ目の条件「何という本から取り上げて書いたのが分かるように書く」ができていなかったためでした。

【今後の学校における指導】

- ★「書くこと」領域の記述式問題において
 - ・授業の中で、書かための条件に合わせて、目的や意図に応じ、文章全体の構成や表現を工夫して文章を書く学習を充実します。

算数

課題の見られた領域 【数量関係】

この領域の問題は5問でした。領域全体の平均正答率は46.0%でした。その中でも、記述式の問題は、正答率は22.8%で、無答率は8.8%でした。このもっとも正答率の低かった問題は、「数と計算」「図形」「数量関係」に関わる応用的な問題です。

★正答率が低く、課題の見られた問題

(2) あいりさんたちは、底面が正方形の四角柱にも、紙をはろうとしています。



それぞれの側面に1枚ずつ紙をはっていくのは大変そうですね。1枚の大きな長方形の紙だけで、すべての側面に紙をはることはできないかな。

下のように、1枚の大きな長方形の紙を使って、四角柱のすべての側面に紙をはっていきます。

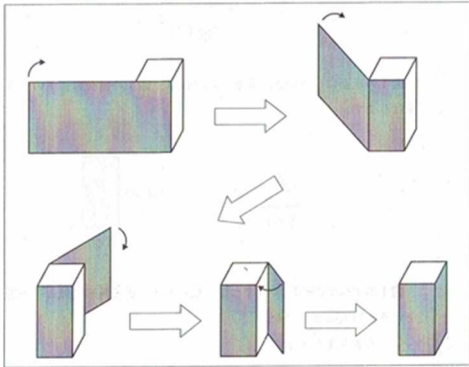


図2の四角柱は底面が正方形で、図2の四角柱のすべての側面に紙をはるためには、図3のような1枚の大きな長方形の紙の横の長さを、どのくらいの長さにすればよいのかを考えます。



図2

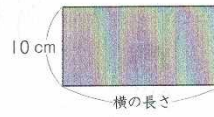


図3

図3の横の長さは、次のように求めることができます。

求め方

$$5 \times 4 = 20 \text{ だから、答えは } 20 \text{ cm です。}$$

図2の四角柱について、求め方の中の「 5×4 」は、どのようなことを表していますか。「5」と「4」が何を表しているのがわかるようにして、言葉や数を使って書きましょう。

この問題は、長い問題文の中には、すでに「求め方」、「式」、「答え」が書かれており、式がどんなことを表しているのかを問う、新しいタイプの問題でした。この長い問題文の中で問われているのは、赤線部分の条件を満たして、式がどんなことを表しているのかを答えることです。

※誤答のほとんどは、「5」が「四角柱の底面の1辺の長さを表していること」を十分に記載できていないためでした。

正答：(例)

5は、底面の1辺の長さが5cmであることを表しています。4は、底面の1辺の長さが4つ分であることを表しています。だから、 5×4 は、底面の1辺の長さ5cmが4つ分あることを表しています。

【今後の学校における指導】

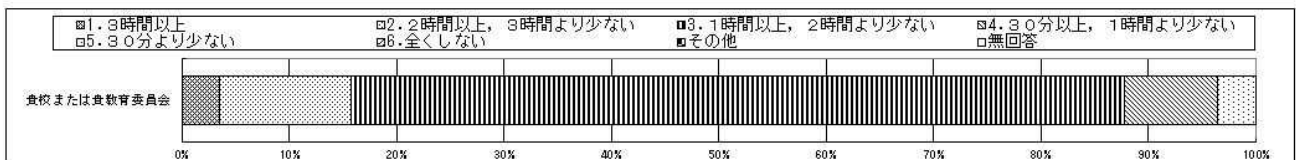
★「数と計算」「図形」「数量関係」に関わる応用問題

- 授業の中で、図形の構成要素である辺の数や面の数、辺の長さなどを基に、立体図形と式とを関連付けて説明する学習を充実します。
- 乗法の式の意味を言葉や数を用いて記述する学習を充実します。

質問紙

平日の家庭学習については、87.7%の6年生が1日1時間以上の家庭学習をしていると回答し、今後の授業改善も含めた学校の授業内容とリンクした家庭学習をしていく事で一層の効果が期待できます。読書については、0~10分未満の子が47.4%であり、各教科の問題文で何を問われているのか読みとくためにも読解力が必要であり、読書活動を充実させていく必要があると考えます。

質問番号	質問事項										
(21)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
食校または食教育委員会	3.5	12.3	71.9	8.8	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(24)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
食校または食教育委員会	3.5	5.3	14.0	29.8	21.1	26.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

